

W3C Media Content Metadata Japanese CG 第9回会合 議事録

- 日時:2025 年 3 月 27 日 10:30~12:00 (オンライン開催)
- 出席者:
星野(ACCESS)、田口(エム・データ)、新井(LG Japan Lab)、
出野(オムロンソフトウェア)、岸上(慶應義塾大学)、富倉(講談社)、市川・丸山(集英社)、
下花・津田(ジョルテ)、芦村・吉澤 (W3C)、藤井・遠藤・大亦(記)(NHK) (敬称略)
- 議事:
 1. はじめに(遠藤)
 - 議事録確認
 - ◇ 出席者は異議なし。後ほど ML で流して承認していただく。
 - ◇ 議事録作成、今回は NHK が担当する。
 2. 出版メタデータ紹介 (遠藤)
 - JPO の JPRO システムのメタデータ : <https://jpro2.jpo.or.jp/handout>
 - 日本出版インフラセンター(JPO)は、出版の流通情報を扱い、ISBNコード、雑誌コード、書店情報の管理や、書誌情報収集を行ってきた。その後、2014 年の著作権法の改正により、出版権設定に関する情報まで含めた書誌情報の整備基盤を進めるため JPO の中に出版情報登録センターができた。(略称 JPRO)。現状は紙とデジタルの出版物のメタデータ(書誌情報)を登録している。(丸山)
 - ◇ JPO 資料:https://jpro2.jpo.or.jp/pdf/20141211_jpoinfo.pdf
 - 質疑応答
 - 出版権とはどのようなことか?(遠藤)
 - 著作権者が出版者に対して、著作物を複製して出版し頒布する権利を独占的に許諾する権利。2014 年の法改正で、紙媒体だけではなく、電子書籍にも適用されるようになった。その流れで出版情報は出版業界で基盤を整理しましょうと。出版権情報の登録・管理は出版業界主導で進めるというところから始まっていると思う。(丸山)
 - デモでどのような出版データがあれば活用できそうか?(遠藤)
 - 出版日(発売日)が欲しい。本に関連するイベントの情報があるとよい。タグ付けなどマッチングできるとよい。著者単位の PR のページ(著者ごとの出版物のリスト)があるといいと作家が言っていた。(下花)
 - JPRO の中に Books というサイトに発売日情報がある。
 - ◇ Books:<https://www.books.or.jp/>

検索で著者名を引くと、リストとして出てくる。

イベントは出版社ごとに持っている情報となってしまう。(丸山)

- サンプルデータを GitHub へ公開していただけるか。(遠藤)
- 先日お渡しした ONIX の情報は公開情報なので共有しても問題ないと考えている。(丸山)

3. 出版社向け書誌情報について(富倉)

◇ 資料:mcm-jp/reports/use-cases/bibliographic-information/【出版社様向け】書誌情報新テンプレート 202408.xlsx at main · w3c-cg/mcm-jp

- JPO があるのになぜメディアドゥみたいな取次があるのか？
- JPO のシステムを使うにはお金がかかる。そのためすべての出版社が登録しているわけではない。そのため、取次が必要となる。
- ジャンル ID・サブジャンル ID は、各出版社や図書館情報、JPO、他の取次とも一致しない。
- タイトル連番:実は番号振っていないがシリーズというのがあり連番登録もできる。
 - 希望小売価格:自由に価格が設定できる(いつでも変更できる。電子書籍は再販制の対象外のため)。
- 説明文:2000 文字まで。過去はシステム上の都合だったが、いまは字数制限は不要かもしれない。内容紹介に何を書くかは出版社や担当者次第。必須要素などは決まっていない。俗人的というのが欠点。
- サンプル:試し読みの設定ができるのが特徴。5%という設定が多い。
- JDCN コード:電子出版でよく使われているが使っていない出版社もある。電子の場合は ISBN のような流通に絶対必要な共通コードがない。ない場合はメディアドゥが仮 ID を発行している。
- 国立国会図書館と JPO が連携して、網羅しているか確認している。
- 底本 ISBN:もととなった ISBN コード。Amazon で電子と紙が紐づいているがそれ
- 電子書籍は後付けでコード整理をしていった経緯もあり、紙のように現状きっちりした管理ができていない。
- 限定配信:配信先や配信禁止の事業者を設定できる。
- 他業種連携していくには足りない情報がある。
- キーワード。検索してひっかけてもらうために入れるので、内容と一致しないことがある。恣意的な運用がされている。登場人物、地名など、入れるべき項目を指定してもいいのではないか。本を売るために使われている。

➤ 質疑応答

- どのようなキーワードだとまず始められそうか？(遠藤)
- フィクションは難しい。ノンフィクションだと年代、地名、人名。(富倉)
- テレビ番組の中で書籍が紹介されると人物や著書の情報を入れるので、連携できる可能性はある。キーワードについては、書籍名を忘れたときに検索しやすくなると思う。(田口)
- テレビとの連動はユーザーにもわかりやすく訴求できるのではないか。(田口)
- Google リッチリザルトへの対応もされているのか。(大亦)
- 各出版社が何かやっているわけではない。(丸山)
- 一般ユーザーからこの名前を変換できるようにして欲しいという要望をいただく。後追いで DB 登録しているのだが、理想は事前に登録したい。出版コンテンツの中で登場人物の名前をいれていただきたい。マンガやアニメの場合が多い。放送業界も同様。(出野)
- 変換のその先にどのようなことが起きるのかとセットでできると実行に移せる可能性がある。(丸山)
- プロトタイプの検討可能か？(遠藤)
- 事業につながるか。ユーザー動線も含めて検討が必要。(出野)
- 出版とイベントとの連携についてデモのシナリオに含めることもできそうか？(遠藤)
- 検討したい。(下花)
- ユースケースの一つとして、用語 DB を作る時にクラウド側の大きい辞書は業界ごとや業界横断で使えるようにオープンになればよいと思う。皆さんにとって有益になるか？
Smart Cities IG でも ISO/IEC の関係者などと検討を進めており、今後連携を進めた方がよいと思う。
電子書籍と紙の媒体との兼ね合いなども検討が必要。(芦村)

4. CG レポートについて (遠藤)

- 今後の更新がある見込みなので、Final とせず Draft のままとする。
- 現状版でレポートとしてアップしようと思うので、3/31 までに修正があれば連絡欲しい。
- 一旦、DRAFT としてアップしようと思う。

5. InteropW3C ブース展示(遠藤)

- 紹介スライド(サイネージ)など準備予定、プレゼンは未定
- デモ : アプリ/ジョルテ、小学館、NHK データ/出版各社、エムデータ

➤ 質疑応答

- Wnn(うんぬ)の実サービスをみせていただけないか？(遠藤)
- 新規の開発は難しい。ASIS であれば対応可能。(出野)
- 車のユースケースで協力できるかも。位置情報とイベントの連携など。(星野)
- ぜひ、検討したい。(下花)

6. まとめ

- 4 月会合:2025/4/24(木)11:00-12:00 予定
- 5 月会合:2025/5/22(木)11:00-12:00 予定

以上